

医療情報①  
後藤茂之  
厚生労働相

## 経口薬ラゲブリオ 2万人分以上配送済

後藤茂之厚生労働相は1月11日の閣議後の記者会見で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の経口治療薬「ラゲブリオ」（一般名モルヌピラビル）について、約8000の医療機関・薬局に対し、約2万3700人分をすでに配送していると説明した。

登録を済ませているのは、約8600の医療機関と約9600の薬局だとした。

### ●モデルナワクチン、第1四半期に1800万回分確保

後藤厚労相は、COVID-19ワクチンの3回目接種に向けた確保状況について、モデルナ社製の1800万回分について「第1四半期に納品されるということになっており、最終的にその時期がいつになるのか調整したり、あるいは流通過程におけるさまざまな問題点等について、製薬会社と調整している」などと述べた。

また、接種体制については、自治体の準備が遅れ気味であることを認めただけで、「今後最大限、引き続き自治体等の取り組み状況を把握しながら、適切に我々の方から助言を行ったり、あるいは是非とも推進をしていただくようにお話しをさせていただく」などとした。

また、各都道府県における大規模接種会場の設置や、接種場所のさらなる確保などを通じてペースアップを要請していく考えも示した。

医療情報②  
東京都医師会  
定例記者会見

## 自宅療養者等の健康観察、 診療・検査医療機関が実施

東京都医師会（都医、尾崎治夫会長）は1月11日の定例記者会見で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のオミクロン株の感染拡大を受けた、自宅療養感染者・待機者への新たな医療支援策を公表した。

都医はこれまで、自宅療養感染者・待機者に対しては「各地区医師会による診療体制」「オンライン診療システムによる広域的な遠隔診療」などの対応を取ってきている。

これらに加え、1月7日からの「自宅療養者への往診体制の強化事業」を、また同12日からの「診察・検査医療機関による健康観察支援事業」の開始を報告した。

自宅療養者への往診体制の強化事業は、24時間往診対応できる機能強化型在宅療養支援診療所・病院から、往診拠点医療機関を公募。地区医師会が保健所からの往診依頼にこたえられなかった場合などに、保健所が往診拠点医療機関に往診依頼し、ここから自宅療養者等に往診する仕組み。11日時点で10医療機関を選定済みとしている。

診察・検査医療機関による健康観察支援事業は、陽性患者の検査・診療を行った医療機関が HER-SYS を利用した発生届の作成と合わせて、自宅療養者に対して My HER-SYS や電話による健康観察を実施し、必要な治療も施す仕組み。

入院の必要性についても診察・検査医療機関が判断する。療養期間中は、1日1回自宅療養者に架電し、健康状態を確認。自宅療養者の健康状態を HER-SYS 等に入力し、保健所と情報共有を図るとした。診療・検査医療機関から公募しており、約1000カ所の診察・検査医療機関が参加の意向を示しているという。

医療情報③  
厚生労働省  
事務連絡

## 濃厚接触の医療従事者、要件満たせば勤務可能

厚生労働省は1月12日付で、「オミクロン株の感染流行に対応した保健・医療提供体制確保のためのさらなる対応強化について」を、都道府県等に宛てて事務連絡した。

「保健・医療提供体制確保のためのさらなる対策」として、自宅療養者の健康観察・診療を行う医療機関数の拡大を求め、さらに、以下をすとした。

- ▼経口薬について、医療機関間の連携により診断の当日ないし翌日での投与可能な体制を確保
- ▼陽性判明当日ないし翌日に療養者に連絡をとり、健康観察やオンライン診療・訪問診療等ができる体制を確立
- ▼パルスオキシメーターを自宅療養開始当日ないし翌日に配布

都道府県等による一元的に実施するフォローアップセンター（委託方式含む）の設置やその強化についても検討するよう求めている。

病床のフェーズ引き上げについても、即座に稼働できる体制を構築するよう求めた。

「感染流行状況に基づく対応」では、医療従事者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応として、以下の要件および注意事項を満たす限りにおいて、医療に従事することは不要不急の外出に当たらず、勤務することは可能とあらためて示した。

### 【要件】

- ▼他の医療従事者による代替が困難な医療従事者であること。
- ▼新型コロナウイルスワクチンを2回接種済みで、2回目の接種後14日間経過した後に、新型コロナウイルス感染症患者と濃厚接触があり、濃厚接触者と認定された者であること。

▼無症状であり、毎日業務前に核酸検出検査または抗原定量検査（やむを得ない場合は抗原定性検査キット）により検査を行い陰性が確認されていること。

▼濃厚接触者である当該医療従事者の業務を、所属の管理者が了解していること。

医療情報④  
厚生労働省  
事務連絡

## 自宅療養中の医師、 オンライン診療の実施可能に

厚生労働省は1月7日付で、「自宅療養または宿泊療養中等の医師によるオンライン診療等について（周知）」を、都道府県等に宛てて事務連絡した。

新型コロナウイルスに感染した（感染の疑いがある場合を含む）または濃厚接触者である医師が、無症状であるなどにより自宅または宿泊療養施設等において療養または待機しながらオンライン診療を行うことについて、「医療機関に所属し、その所属を明らかにしていることや、患者の急病急変時に適切に対応する体制を整えておくこと等、『オンライン診療の適切な実施に関する指針』Vの2の(1)および(2)を遵守のうえ、当該医師の自宅または宿泊療養施設等において、医療提供施設または患者の自宅等に所在する患者に対してオンライン診療を行うことは差し支えない」としている。

### ●自宅療養中のOL診療、報酬算定可

厚労省は同日付で、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱いについて（その64）」を、地方厚生（支）局と都道府県に宛てて事務連絡した。

新型コロナウイルスに感染した（疑いを含む）または濃厚接触者である医師が、無症状等で自宅等でオンライン診療や電話を用いた診療を行った場合、診療報酬を算定できるとした。

ただし、指針の「医師の所在に関し最低限遵守する事項」を遵守することが条件。

遵守すべき事項は以下の通り。

- ①オンライン診療を行う医師は、医療機関に所属し、その所属を明らかにしていること。
- ②患者の急病急変時に適切に対応するため、患者が速やかにアクセスできる医療機関において直接の対面診療を行える体制を整えておくこと。
- ③医師は、騒音により音声聞き取れない、ネットワークが不安定であり動画が途切れる等、オンライン診療を行うに当たり適切な判断を害する場所でオンライン診療を行ってはならない。

- ④ オンライン診療を行う際は、診療録等、過去の患者の状態を把握しながら診療すること等により、医療機関に居る場合と同等程度に患者の心身の状態に関する情報を得られる体制を整えなければならない。ただし、緊急やむを得ない場合には、この限りでない。
- ⑤ 第三者に患者の心身の状態に関する情報の伝わることのないよう、医師は物理的に外部から隔離される空間においてオンライン診療を行わなければならない。

医療情報⑤  
厚生労働省  
事務連絡

## オミクロン株急拡大時の 保健所対応、柔軟に

厚生労働省は1月12日付で、「B.1.1.529系統（オミクロン株）の感染が確認された患者等に係る入退院および濃厚接触者ならびに公表等の取り扱いについて」を、都道府県等に宛てて事務連絡した。

事務連絡では、Q&Aを追加している。入院中のオミクロン株患者について、重症化の恐れが低くなった場合等に、宿泊療養や自宅療養に移行してもよいとした。

また、新型コロナウイルス感染症の感染が急拡大している場合に、有症状の患者自らが実施した抗原定性検査キットの結果に基づき、医師が遠隔診療等で確定診断を行い、感染症法に基づく届け出を行うことについて「差し支えない」とした。

オミクロン株が市中感染の状況となり、患者数が急増のため保健所業務がひっ迫し、濃厚接触者の把握によるクラスターの連鎖を防ぐことが困難な状況下にあるとき、「地域の感染状況に応じて、同居家族の把握や、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの高い人（高齢者、基礎疾患を有する者、特にワクチン未接種者）のなかで濃厚接触者に該当する人がいないかを優先して把握を行う」などの柔軟な対応は可能とした。

ただし、対応可能な状況になった場合は再び従来の濃厚接触者調査に戻すよう求めた。

医療情報⑥  
全国知事会  
発表

## 政府の迅速な対応に謝意

～全国知事は1月7日にコメントを発表

全国知事会（会長＝平井伸治・鳥取県知事）は1月7日、広島、山口、沖縄の3県に「まん延防止等重点措置」が適用されたことを受けてコメントを発表した。

コメントではまず、政府の迅速な対応に謝意を示したうえで、3県以外についても、「緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出等、迅速かつ機動的に対処されるよう強く求める」とし

た。

さらに、政府に対し「オミクロン株の詳細な性状を早期に分析するとともに、地方と緊密に連携のうえ、水際対策を維持しながら、市中の感染対策をあらゆる手段を投じて強化し、感染拡大の防止に総力を挙げて取り組んでいただくよう」求めている。

医療情報⑦  
厚生労働省  
事務連絡

## 精神科病院の入院患者の追加接種で事務連絡

厚生労働省は1月6日付で、「精神疾患による入院患者への新型コロナワクチンの追加接種に係る接種体制の確保等について」を、都道府県と市区町村に宛てて事務連絡した。

精神科病院の入院患者については、追加接種でも、できるだけ当該精神科病院において接種体制が確保されるよう、関係医療機関への要請や周知を行うよう求めた。

初回接種完了から8カ月を待たずに追加接種を実施する場合について、「病院または有床診療所の入院患者」に精神科病院の入院患者も含まれることを明示。市区町村と都道府県が適宜連携のうえ、入院患者に対する接種を行う意向を持つ精神科病院を把握し、必要なワクチンの配分等を行い、追加接種を実施するよう求めた。

医療情報⑧  
厚生労働省  
事務連絡

## 高齢者施設等の集中的検査で事務連絡

厚生労働省は1月7日付で、「高齢者施設等の従事者等に対する集中的実施計画の実施方針等について」を、都道府県等に宛てて事務連絡した。

広島、山口、沖縄の3県が、新型インフルエンザ等対策特別措置法（特措法）に基づくまん延防止等重点措置区域に指定され、基本的対処方針で緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域に指定された都道府県等が「集中的実施計画を策定し、感染多数地域の高齢者施設等の従業者等に対する検査の頻回実施を行う」とされたことを踏まえ、集中的実施計画の実施方針について示した。

また、B.1.1.529系統（オミクロン株）については、ウイルスの性状に関する実験的な評価や疫学的な情報は限られているものの、感染拡大が生じた場合デルタ株が主流であった今夏に比べ感染拡大の速度が非常に速い可能性があると指摘。「緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域に指定された都道府県等以外も、指定された場合に遅滞なく速やかに集中的実施計画に基づく検査を確実に実施できるようにするため」準備を始めるよう求めている。

## 赤ひげ大賞の受賞者 5 人を発表

～日本医師会は 1 月 6 日に受賞者を発表

日本医師会（日医、中川俊男会長）は 1 月 6 日、第 10 回「日本医師会赤ひげ大賞」の受賞者を発表した。表彰式は 3 月 18 日に予定しているが、新型コロナウイルス感染症の状況を勘案したうえで開催するかどうか決める。

赤ひげ大賞は、日医と産経新聞社の主催で「地域の医療現場で長年にわたり、健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当てて顕彰する」ために 2012 年に創設された。10 回目の今回は、赤ひげ大賞に 5 人、赤ひげ功労賞に 13 人が選定された。

受賞者は以下の通り（敬称略）。

### 【赤ひげ大賞】

- ▼植田俊郎（67 歳、植田医院院長／岩手県医師会推薦）
- ▼市川晋一（70 歳、仙北市西明寺診療所・仙北市桧木内診療所所長／秋田県医師会推薦）
- ▼鋤柄稔（74 歳、シャローム病院院長／埼玉県医師会推薦）
- ▼大石雅之（67 歳、大石クリニック院長／神奈川県医師会推薦）
- ▼佐藤立行（94 歳、佐藤医院院長／熊本県医師会推薦）

### 【赤ひげ功労賞】

- ▼楯秀貞（北海道）
- ▼今村憲市（青森県）
- ▼丸山博（千葉県）
- ▼鈴木慎太郎（東京都）
- ▼吉田まゆみ（福井県）
- ▼露木弘光（山梨県）
- ▼河合俊（静岡県）
- ▼西城英郎（三重県）
- ▼赤木重典（京都府）
- ▼田仲みすず（大阪府）
- ▼円山忠信（広島県）
- ▼星子卓（福岡県）
- ▼木原晃一（鹿児島県）

## コロナワクチン接種、 3 回接種完了は 95 万人

政府が公表した新型コロナウイルスワクチンの接種実績によると、1 月 11 日の一般接種は、1 回目が 4463 回、2 回目が 7805 回の、合わせて 1 万 2268 回だった。

1 月 11 日までの総接種回数は 2 億 155 万 8997 回で、このうち高齢者は 6601 万 8965



回、職域接種が1933万3787回だった。

全体では1回以上接種者が1億115万1742人で接種率は79.9%。このうち高齢者は3307万2892人で接種率は92.5%。

2回接種完了者は、全体では9945万6201人で接種率78.5%、うち高齢者は3294万6073人で、接種率は92.1%。また、3回接種完了者は95万1054人で、接種率は0.8%だった。

医療情報⑪

1月12日

現在

## 国内の重症患者数の 漸増傾向続く、105人に

厚生労働省のまとめによると、日本国内の新型コロナウイルスへの感染状況は、1月12日零時時点で、前日より6378人増えて、合わせて177万8827人となった。このうち、チャーター便による帰国者が15人、空港等検疫が7026人、国内事例が177万1786人。国内の死者は、前日から2人増えて1万8407人となった。

すでに退院等している人は、前日より1012人増えて171万6928人となった。入院治療を要する4万2419人のうち、人工呼吸器装着または集中治療室に入室している重症者は、前日から5人増えて105人だった。1月4日までの国内（国立感染症研究所、検疫所、地方衛生研究所・保健所等）のPCR検査の実施件数は4095万3430件だった。

1月12日零時時点での都道府県別の陽性者数は、東京都が38万9728人（死亡3175人）で最も多く、次いで大阪府の20万8419人（死亡3066人）、神奈川県17万2157人（死亡1319人）、埼玉県11万7873人（死亡1059人）、愛知県10万8270人（死亡1161人）などとなっている。

### ●陽性者100万人超、48の国と地域に拡大

厚労省のまとめ(図表)によると、1月12日15時時点の世界の新型コロナウイルスへの感染状況について、米国では感染者が6230万人あまりに達した。死者数は約84万2000人となった。

インドでは、感染者が約3588万人で、死者は約48万4000人。ブラジルでは感染者数が約2264万人で、死者は約62万1000人だった。

このほか陽性者が100万人を超えているのは、英国、フランス、ロシア、トルコ、ドイツ、日本などの、合わせて48の国と地域、10万人を超えているのは、合わせて117の国と地域。感染者が1万人を超えているのは168の国と地域。

ヨーロッパでは、英国で陽性者が約1483万人、死者が約15万1000人に達した。フランスでは陽性者が約1268万人となった。死者は約12万7000人。ロシアでは陽性者が約

1050万人で死者は約31万1000人。

このほか、イタリアで約777万人、ドイツで約769万人、スペインで約759万人の陽性が確認されている。

中南米では、ブラジルのほか、アルゼンチンで約653万人、コロンビアで約538万人、メキシコで約414万人、ペルーで約241万人の陽性が確認されている。

アジアでは、インドのほかインドネシアで感染者が約427万人となったほか、フィリピンで約303万人、マレーシアで約279万人、タイで約228万人、ベトナムで約193万人となった。中東地域では、イランで感染者が約621万人、イラクでも約210万人となっている。アフリカ諸国では、南アフリカで感染者が約354万人、モロッコで100万人を超え、約101万人となっている。

**(図表)国別の感染者・死亡者の状況**

国・地域	感染者	死亡者	国・地域	感染者	死亡者
米国	62,308,132	842,141	タイ	2,284,609	21,850
インド	35,875,790	484,213	イラク	2,100,518	24,220
ブラジル	22,636,359	620,507	ベトナム	1,930,428	34,787
英国	14,826,336	151,093	ルーマニア	1,857,502	59,070
フランス	12,680,780	127,048	チリ	1,837,390	39,289
ロシア	10,503,101	311,281	ポルトガル	1,693,398	19,161
トルコ	10,119,884	83,980	バングラデシュ	1,598,389	28,107
イタリア	7,774,863	139,559	イスラエル	1,589,099	8,274
ドイツ	7,690,632	114,739	スイス	1,571,481	12,409
スペイン	7,592,242	90,383	ギリシア	1,568,215	21,559
アルゼンチン	6,533,635	117,595	スウェーデン	1,487,291	15,431
イラン	6,210,298	131,940	スロバキア	1,401,959	17,039
コロンビア	5,380,841	130,460	オーストリア	1,361,741	13,872
インドネシア	4,267,451	144,144	セルビア	1,359,544	12,936
ポーランド	4,232,386	100,254	パキスタン	1,309,248	28,987
メキシコ	4,136,440	300,412	ハンガリー	1,300,994	40,016
ウクライナ	3,890,974	103,950	豪州	1,223,505	2,465
南アフリカ	3,534,131	92,649	カザフスタン	1,088,877	18,286
オランダ	3,470,083	21,584	ヨルダン	1,085,500	12,909
フィリピン	3,026,473	52,511	アイルランド	1,021,303	5,952
マレーシア	2,792,035	31,723	デンマーク	1,020,221	3,425
カナダ	2,627,864	31,017	モロッコ	1,012,042	14,927
チェコ	2,538,298	36,683	キューバ	982,614	8,330
ペルー	2,412,577	203,157	ジョージア	968,313	14,264
ベルギー	2,307,843	28,539	ネパール	835,927	11,607